

～自分やふるさとに誇りをもち、夢や希望にむかう子ども～  
 ○ 自ら学ぶ子ども  
 ○ こころ豊かな子ども  
 ○ たくましい子ども

# 玉っ子

NO 6 R 4.6.29

文責 校長 佐藤則之

## 正門へのアプローチをきれいに整備

先週末「玉井小学校 PTA 会長 OB 会」の役員さんを中心に、校庭南側の正門に至る坂道の樹木の剪定作業を行っていただきました。保護者の皆様と同様に、本校の心強い応援団です。

正門までのアプローチが大変きれいに整備されました。現在は舗装され緩やかな坂道となっていますが、昔、階段があった様子が写真に残っています。本校がスタートしたのは、明治7年（1872年）1月23日です。それ以来、尋常小学校や尋常高等小学校、国民学校と校名は変更となるものの、昭和30年3月には、「大玉村立玉井小学校」という現在の校名となり、開校以来150年目を迎えています。昭和43年（1968年）には完全給食が開始されました。昭和53年（1978年）にはスクールバスの「やまなみ号」が運行開始との記録が残っています。



### うれしい話

4区の方からうれしい話を聞きました。毎朝の集団登校での本校児童の「おはようございます」「ありがとうございます」「あいさつがとてもよいので、そのことを是非伝えたいということでした。また、ある上級生は、下級生に地域の方へのあいさつを促す様子が見られ感心させられるとのことでした。



昔の玉井小学校



作業してくださったOB会の皆様

屋外でのマスクの着用については、熱中症警戒情報から「暑さ指数」を参考に、熱中症対策を優先して子どもたちに声をかけています。その際には「できるだけ身体的距離を保つこと」や「近距離での会話を控えること」もあわせて指導しています。現在、新型コロナウイルスによる感染状況は、収束傾向がみられますが、マスクを外すことのリスクがゼロになるわけではありません。また、マスク着用の有無については考え方に個人差もあるため、屋外でマスクを外すことについて一律に強制するわけにはいきません。ただ、気温が高くなることが予想される夏場は、本校では熱中症対策を優先して参ります。なお、6月24日付「熱中症予防について」でもお知らせしたとおり、マスク着用の判断については、他人を批判しないことの大切さもあわせて指導しているところです。

